

第3回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議（第4部会）会議録

日 時 平成27年9月11日（金） 13時30分から

場 所 周南市役所3F 防災会議室

出席者 ・委員 4名

原田 康宏、河村 啓太郎、河田 正樹、横道 秀彦

・担当課・事務局職員 6名

上野 貴史、綿野 博之、神杉 朋史、貞弘 和毅、中村 成孝、中村 貴子

会 議 議 事 録

1 開 会

本日の流れについて説明

2 グループワーク(委員からの意見・提案)

(1) 前回の振り返りと総合戦略掲載施策・事業等の検討

【動物園について】

- 素晴らしい事業をされていると思うが、もっと子供の目線というか、子供がもっと参画できる仕組みがあればさらに良いものになる。
- 人を呼び込むには、徳山駅からのアクセスをもっと検討する必要がある。
- 目標の入園者数を実現するには、駐車場の許容量が厳しいのではないか。
- 動物園の行事の際に、中心市街地の駐車場を利用させていただこうとしたが、利用者数は少なかった。駅ビルの賑わいと動物園の賑わいの連携が取ればもっと良いものになる。
- 中心市街地としては、動物園に行った後の観光客の行動パターンを把握したい。
- ゴキブリ展のような集客イベントを年何回か開催すれば、かなりの入園者数になる。せっかくの立地を生かせないだろうか。
- 動物園をまるごとイベントスペースとして民間などに貸し出すこともアイデアだ。

【大規模集客イベントについて】

- 長門市の焼き鳥イベントなど、同じテーマで何年間も開催しているのに、あきられることなく集客できるイベントはすごい。地元が本気で取り組んでいるのだろう。
- 既存のイベントとの整理をしていかないといけない。
- 成功したイベントは、地域産業と連携したものが多い。
- 全国に誇れるスポーツ施設もあるので、スポーツイベントも考えてみてはどうか。

【総合戦略としての取捨選択を含めた全体的な意見・提案】

- 集客イベントについて、携帯電話などのICTを活用し、満足度調査などにより評価する仕組みを作ってはどうか。
- 教育用には、クリッカーというソフトもある。
- オフィス系が中心になるかもしれないが、東京などで活躍されている周南市に縁のプレーヤーに情報を発信することも必要だ。
- 東京だとIT関係の人材を確保することが難しくなっているから、それを地方に求めている。人材確保や情報提供などを含めて、総合的に支援できる機関が必要だと思われる。
- 東京の県人会などに、もっと情報提供できるネットワークを持っておくことは、とても大切だ。
- 分野ごとに、支援制度などの情報発信ができる冊子やツールなどがあれば良い。
- ふるさと大志などを、もっと積極的に活用することを考えた方が良い。
- 商店街の経営者の方と、周南市に出店されたい方をマッチングさせることを考えてはどうか。経営者の方のニーズはあるようだが、出店を考えている人のニーズも把握する必要がある。
- 商店街のお店を継承していくための講座などを企画してはどうか。
- イベントや観光でもそうだが、民間と行政が一緒になって、そういったことをある程度管理していく仕組みが必要ではないか。
- 丸亀商店街で、新たに何かを始めようする人を育成する事業を行っているが、そういった人材育成の事業が大切だ。
- 実際に起業するかどうかは別にして、アントレプレナー精神（起業家精神）を育成することはとても大切だ。
- 徳山大学はスポーツ関係の学生が6割いる。スポーツビジネスの振興なども、大切な視点ではないか。
- 駅ビル整備は、既に事業として実施しているので、総合戦略として適当だろうか。
- フェリーターミナル再編事業は、観光に絡めて、交流人口の増加につながるのではないか。
- 徳山商店街の場合、商業の活性化というより、そこに関わる人の活性化という切り口が重要だ。

【数値目標・KPIの設定について】

- 数値目標などは、一つの目標や施策に対して、2つ以上あっても良いのではないか。
- 賑わいと活力を計る指標として、「徳山駅の乗降客数」は、通勤・通学者を含めカウントしてしまうので、適切ではない。また、車を利用して本市を訪れる観光客数をカウントできない。

3 閉会

(次回開催案内)